

動物園で太平洋戦争を生き延びたゾウの実話を基にした合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」。この曲を歌い続ける「川口ぞうれっしゃ合唱団」(川口市)が、結成

30年の節目となる来年7月の公演に向け、練習に熱を入れている。新たな団員も受け入れており、子どもも大人も平和への願いを胸に声を合わせる。(近藤統義)

「ぞうれっしゃ」歌い、継ぎ

子どもから大人まで練習に熱が入る合唱団のメンバー
=川口市で



川口の合唱団 30年節目 来年7月公演へ練習

「ぞうれっしゃがやってきた」は、戦時下で各地の動物園の動物たちが次々と殺処分される中、東山動物園(名古屋市中)が二頭のゾウを守り抜いた物語。戦後、そのゾウに会いに行く特別列車が仕立てられ、子どもたちに夢を与えた。

合唱団は、この曲に魅了された川口市の会社員荒木紀理子さん(48)を中心に一九九〇年に結成。翌年の初演以来、二年ごとにコンサートを開き、二歳〜八十代の延べ五千五百人が歌い継いできた。

合唱団が大事にするのは、「ここに来れば会えるね」という歌詞の一節だ。「学校に行けなくても、合唱の練習には来られる子もいる。障害がある人もいる。みんなの居場所になって

いる」と荒木さん。公演のたびに新たな仲間が集まり、音楽を通じた輪が広がっている。練習は毎月第二、第四日曜を基本に今月上旬、川口市教育研究所芝園分室(旧芝園小学校)で始まった。母と六歳の娘と参加するさいたま市の保育士小見春子さん(44)は「子どもたちの歌声に元気をもらっている。毎回来るのが楽しみ」と笑顔を見せる。

荒木さんは「国家間の関係が悪くても、『戦争はイヤ』という思いは一緒のはず」と、県内で増える外国人の参加も呼び掛ける。参加費は本番まで通して、一家族八千円など。コンサートは来年七月十九日、JR川口駅西口の川口リリア・メインホールで開催し、伴奏に初めて弦楽器が加わる。問い合わせは、荒木さん(夜間のみ)☎048(268)9256へ。

回数重ね 広がる仲間の輪

「みんなの居場所に」

県内の天気

さいたま	きょう
熊谷	あす
秩父	

きょうの予想 (さいたま)
降水確率 朝40% 昼60% 晩
気温 最高11度 最低7度
北の風

さいたま支局 ☎330-0063
さいたま市浦和区 高砂3-1 小峰ビル
電話 048-834-
FAX 048-834-
mail:saitama@tokyo-np.
通信局・部
熊谷 048-521-
越谷 048-989-
羽生 048-561-
所沢 04-2937-
川越 049-223-
秩父 0494-22-1

埼玉中央

ダイオープリンティング株式会社
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-13-4 オーク大塚ビル
商印・出版事業部 ☎03-6991415673
ビジネスフォーム事業部 ☎03-357615700
シールラベル事業部 ☎03-590712320

長りたい

田市尾計明